



名水所在地／八頭郡八頭町用呂

古来から湧き出る清冷な水

「因幡志談集考」によると、「村はずれの縄手道の側に名水あり。四社権現の御手洗なり。池の広さ四・五畳、深さ巷尺ばかり、下流（一條の）小川となる。旱魃といへ供水涸れず、清冷潔淨（言う許なし）なり。此池の中に昔より一目のうぐい住むという（伝えたり）」とある。

また、水源地から50m下流に国の重要文化財「矢部家」がある。矢部家は、歴史的考察から構築は桃山時代と推定されるが、その祖を若桜城主とし、天正年中尼子氏にやぶれて民家に下り、用呂村に帰農して大庄屋、宗旨庄屋等を勤めた家系である。

この住宅は17世紀初期の建物で、その後350年の間に再三、間仕切装置の変

更など修理改造が行われているが、鳥取県下における最古の民家の一つとして、昭和49年2月5日に国の重要文化財に指定された。

水源地は、八頭町大字用呂字下用呂部落の山寄りの中央に位置し、現在広さは東西約6m、南北約3m、深さ約30cmであり、現在もなお、水は湧き続け、水温は1年中11度を保っている。湧水量は、毎分1.5トン以上と推察され、水質は硬水で清冷である。

この水は、古くから地域住民の生活用水の他、多目的に利用、愛用され、「用呂の清水」として広く知られており、地域住民により、池周辺の清掃など行われ、大切に管理されている。

アクセス

若桜鉄道「丹比駅」下車→路線バス（若桜行）「用呂バス停」下車→徒歩10分

問い合わせ

八頭町 産業課

郵便番号：680-0493

住 所：八頭郡八頭町郡家493

電話番号：0858-76-0208

